

新宮山彦ぐるーぷ第2114回

浦向道の点検巡視

◇実施日… 2021年2月7日(日) 晴

◇参加者

新宮組… 沖崎吉信、橋本梓、濱野兼吉、児嶋道夫、松本吉殖

中前偉、畑林秀味・清子、大江加予子・徳子

倉本加代(ビジター)

三重県… 山川治雄、岩本信行、高階美根子

奈良県、大阪府… 村吉光夫、乾克己、梶野照雄

17名



倉庫前から

荷物を満載して

重い「ウマ」を運ぶ

いよいよ令和3年春季南奥駆道の点検巡視のスタートである。

例年山ヒルの発生時期を避けて、第一回は浦向道が定着している。浦向道は奥駆道ではないが、何百年もの間、十津川郷と北山郷を結ぶ重要な生活道路として使われ、明治時代には郵便物を配達する【通信道】でもあった。また、行仙宿・奥駆道へのアプローチ道であって、玉岡相談役の「歴史ある道は残せ」の号令もあり、点検巡視に組み込み登山道の維持に当たっている。

当日、集合地の役場駐車場に向かう途中村吉さんからメールで、薪切り用の「ウマ」2台を持って参加すると連絡があった。

定刻の8時半に着くとすでに皆さんは到着済みで、すぐ集まって頂き本日のスケジュール、段取りや注意事項を説明。併せて40年誌の国会図書館収蔵についても報告させて頂いた。

全車、全員で森林組合倉庫前に移動し、沖崎、村吉、松本、大江の4台に分乗して補給路登山口に向かう。

登山口に到着して、モノレール横にみんなの荷物を置く。山川さんのテーブル用木材、各自のザックや背負子、村吉さん持参の「ウマ」2台のうち一台はかなりのものだ。高さもあって車庫の通過が心配だ。モノレール荷台に何とか山盛りに積み上げて出発、車庫近くまで登ってきて「ガシヤ」と鈍い音が聞こえた。嫌な感じがした。

車庫まで来て荷を見ると案の定「ウマ」が車庫上部のパイプに当たり下部に亀裂が走っている。何年か前に背負子がパイプに当たって曲がってしまい使い物にならなくなったことが一度だけあった。

それだけモノレールが登る力は強く、衝撃は破壊的なものだ。十分気を付ける必要がある。

モノレール終点から各自が荷を肩に、また手に持ち小屋へ向かう。村吉さんが背負った「ウマ」は20kgほどあっただろう。

小屋に書いて破損した「ウマ」の補修材を探すが見つからず、村吉さんには再度行仙宿に向く必要を生じさせてしまった。



水場手前の倒木



水場は回復



本日の参加者

浦向道に向かうまでに、正月用の御供片付けや水場の確認を行った。11時過ぎから順次昼食を摂ってもらう。

以前から管理棟前のスペースで焚火ができないかと思っていて、少し掘り下げて周りに石を置くつもりで工事を始めたが、すぐ上、焼却炉の手前に鉄製の手ごろなカマドが目についた。これはいい「私を使ってください。この日を永い間待っていました」といつているようで、すぐにこれを使うことを決定。児嶋さんが周りの火止めを施工してくださった。かまどの周りにブロックを並べて、傍にあつたマキを入れて点火した。ほんの7〜8分で長年の夢だった焚火場が完成した。火を囲み雑談しながらの昼食は最高だ。居心地が良すぎて動くのが億劫になる。

出発予定の12時が近くなり準備を始める。車を回送して頂くた

めに橋本、松本、畑林秀の3名が残留、火の始末や戸締りなどをお願いしてお堂前で集合写真を撮り12時少し前に出発した。山川、梶野の二人が各々一台づつのチェーンソーで倒木処理、川島橋手前で2本の倒木を切除する。山川さんはチェーンソーの刃が外れて取り付けに少々時間を要した。



浦向道の倒木処理

林道に合流

この先、林道までに2本の倒木があつたが、道の崩れは無く人手が必要となる作業は無かつた。

林道まで降りてきて小休止、以後女性陣が先行し、その後を男性陣が歩く。児嶋さんはいつも道迷いが無いようにと標識やテープを持参しているが、この日も赤い幅広テープをこまめに巻いていた。

沢迄降りて廃屋跡でも小休止した。私は車回送組になることが多かったもので、ここを歩くのは3年ぶりになる。

廃屋跡から30分も歩けば国道に出ると思っていたが、一時間近くを要し、勾配、高度差もかなりある。午後3時ちよつと前に森林組

合倉庫に到着した。車回送のお三人さん、お待たせしました。ほぼ予定通りの時間だった。登山道に異常は無く一安心。皆さんご苦労様でした。



標識の設置



十津川橋を渡る



倉庫前に到着

前回の牛草山では縁石への衝突、同乗者の積残し。今回は携帯電話が、ストックが見つからない。など、うっかりミスというか、加齢による注意力の低下か小さなトラブルが続いている。小さなミスが大きなトラブルに繋がることもあるので、皆さん十分に気を付けよう。

今回の浦向道巡視に当たって、事前にトラバース道にロープ設置などの安全対策を実施してくれた山川、梶野両氏、また車の回送のために参加を申し出て下さった橋本、松本、畑林秀のお三人に、それに、自発的にテーブルや薪切りウマの作成、荷揚げされた山川、村吉氏、皆さんに厚く御礼申し上げます。

(記：沖崎、写真：梶野)

行動タイム

08：30 役場駐車場→09：10 登山口→10：15 行仙宿 11：55→12：30 川島橋→12：50 林道→13：55 廃屋跡→14：54 森林組合倉庫